

東日本大震災被災地支援

市の保健師チームとして被災地へ

私たち京都市の保健師チーム4人は、4月18日～23日の間、仙台市若林区へ入りました。若林区は仙台駅からバスで東へ15分ほど移動した地域です。私たちは、津波の被害に遭われた荒浜地区からの避難者が多く生活されている蒲町小学校体育館(68人)と蒲町コミセ

ン(23人)を担当しました。避難所は、トイレ・電気は使用可能なものの飲料水は配給、入浴は出来ない状態でした。

私たちの仕事は避難者一人一人の健康状態を確認し、必要な方には巡回診療や心のケアチームに引き継ぐこと、急を要する方は近くの病院へ受診援助することでした。避難所では、自ら身体の不調を訴

える方はほとんどおられないものの、こちらから声を掛けると、瓦礫の片付けをされているせいか咽頭痛や咳等の症状をはじめ、腰・膝痛を訴える方が多くみられました。

避難者の中には、発熱されていても身内の遺体が発見されたと聞いて無理をされる方や、高齢の女性で家族の顔が見えないと不安が強くなる方もおられます。要介護状態の方もおられ、ご家族は「入院する方法もあるのですが、本人

が不安なく過ごすにはやはり、私たち家族と一緒に一番と思ってここで過ごしている」と話され、とても大切に介護されていました。別の避難所では感染性胃腸炎が集団発生しており、私たちが担当する避難所でも感染を想定し予防対策の徹底を図りました。

今後も生活再建に向けての幅広い支援が必要だと感じました。

区健康づくり推進課
担当課長 中村直美

平成23年度 ふれあい体験農場参加者募集



ベテラン農家指導のもと、九条ねぎなどの秋冬野菜を栽培しませんか。

- 日時／平成23年9月～平成24年3月(予定)
- 場所／山科区西野山欠ノ上町の農地
- 対象／市内在住で、平日の栽培研修会に参加いただける方
- 定員／定員45名
- 費用／2,000円
- 申込方法／8月5日(金)(消印有効)まで。往復はがきに「ふれあい体験農場応募」と明記し、住所、

氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入のうえ、〒612-0873伏見区深草瓦町61東部農業振興センターまで郵送ください(申込多数の場合は抽選)。

会場への車でのお断りします。栽培研修会は平日に実施します。平日の研修会に参加出来ない方及び日々の作業が行えない方には、参加をお断りすることがあります。

●問合せ先／東部農業振興センター(☎641-4340)

夏の「陶器まつり」が秋の開催へ変わります

これまで毎年7月に開催していた清水焼団地の「陶器まつり」が、今年から「清水焼の郷まつり」として、10月の開催に生まれ変わります。皆様、ぜひお越しください。

●日時／10月14日(金)～16日(日)

午前9時半～午後8時(最終日のみ午後6時)

●主なイベント／大陶器市、清水焼団地50周年記念展、窯だし市、各種陶芸体験、陶灯路、物産販売、茂山良暢氏狂言公演(無料)など

●問合せ先／清水焼団地協同組合事務局(☎581-6188)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！ 第3回 連載 区民活動きずなリレー

～勤修学区民生児童委員協議会の取組～
今年4月からスタートした「第2期山科区基本計画」。区民の皆様でつくり上げられた計画を、皆で実行・実現していきましょう。

今回は計画の5つの基本施策のうち「保健・福祉・子育て支援を充実させる」に関連して、地域で活躍する民生児童委員の活動をご紹介します。取材に応じていただいたのは勤修学区民生児童委員協議会の皆様です。民生児童委員は厚生労働大臣から委嘱された委員で、もともと生活保護世帯に対する相談や月1回の訪問活動が中心

でしたが、近年はそれだけにとどまらず、高齢者や子どもたちが地域社会で安心して暮らすことができるよう、社会福祉協議会や地域女性会等各種団体と連携しながら様々な活動に取り組まれています。



●健康すこやか体操

では、約30人の高齢者が集まり、健康すこやか体操で体をほぐした後、転倒防止や悪徳商法の手口、認知症予

第1土曜日に開催される「すこやかサロン(茶話会)」

山科区民バレーボールカーニバル



6月19日(日)に第35回山科区民バレーボールカーニバルが、山階南小学校と百々小学校の各体育館で開催されました。

区内13学区から24チームが出場し、各チームともに日ごろの練習の成果を発揮した熱戦が展開されました。優秀チーム(2勝以上)は以下のとおりです。

●優秀チーム
勸修Bチーム 鏡山A、Bチーム 陵ヶ岡Bチーム 山階南A、Bチーム 百々Bチーム 西野チーム

●問合せ先／区まちづくり推進課(☎592-3088)

「山科区2万人まち美化作戦」が実施されました

6月5日、山科区自治連合会連絡協議会の主催により、「山科区2万人まち美化作戦」が実施されました。この取組は、平成15年度から、毎年、環境月間である6月の第一日曜日に実施されています。

今年度も、各学区自治連合会、各種団体、企業などから、多くの皆様に参加されました。区民の皆様が、日ごろから熱心に美化活動に取り組まれている中、この取り組みにより、道路や河川、公園な

どまちの至るところがより一層美しくなりました。



これからも、私たちの山科区が、水と緑に彩られた美しいまちであり続けるために、また地球環境に優しい環境先進区を目指して、みんなで美化活動やごみの減量・資源の再使用などに取り組ましましょう。

●問合せ先／区まちづくり推進課(☎592-3088)

防等について学び、最後はギターとハーモニカに合わせ、童謡や懐メロを全員で合唱します。委員の奥村さんは「プログラムはみんなで知恵を出し合っています。今後は参加者とお茶を飲みながら、いろいろな悩みを聞けるようになりたい」とおっしゃっていました。

また、勤修学区社会福祉協議会主催の乳幼児の親子を対象とした「おはなしとあそびのひろば『このゆびとまれ』」に協力し、親子で楽しみながら交流できる毎月工夫を凝らしています。取材の日は消防署員による乳幼児救急救命講習会が開催され、12組の親子が参加し、和気あいあいとした雰囲気



●乳幼児救急救命講習会

びました。協議会の北村会長は「地域は今後も高齢化が進むし、子育て支援も一層重要となるので、様々な団体が協力することが大切だ。協議会もその一部を担っていきたい」と述べられました。

今後ますます山科の、そして地域の「きずな」を結ぶ主役として、民生児童委員の活躍が期待されます。

●問合せ先／区総務課企画広報担当(☎592-3066)